

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	堺市における災害に強い河川整備の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	堺市												
計画の目標	本市における河川整備を推進することにより、災害による被害の軽減や防災性の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	593	A	589	B	0	C	4	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.67	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	浸水を解消する為に、一級河川狭間川の河道改修延長の割合を16%(H27)から41%(H31)に拡大する。 一級河川狭間川の整備計画規模に対する整備率を算出する。 (総合流域防災事業における一級河川狭間川における河道改修がされている割合)/(総合流域防災事業における一級河川狭間川の河道改修必要区間)	16%	22%	41%
2	長寿命化計画に伴う延命化措置を内川排水機場に行うことで、災害の発生を未然に防ぐ。 長寿命化計画に伴う延命化措置を行う施設数	0箇所	1箇所	1箇所
3	浸水を解消するために、準用河川百舌鳥川の改修事業に着手する。 改修事業に着手する河川数	0河川	0河川	1河川

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
その他総合的な治水事業	A08-002	総合治水	一般	堺市	直接	堺市	準用	-	大和川圏域総合流域防災事業(百舌鳥川)	設計業務 L = 70 m	堺市						6	-	
	A08-003	総合治水	一般	堺市	直接	堺市	広域系	-	大和川圏域総合流域防災事業(狭間川)	河川改修 L = 670m	堺市						223	-	
												小計						229	
												合計						229	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
河川事業	A03-001	河川	一般	堺市	直接	堺市	特構(2)	-	内川特定構造物改築事業 (内川排水機場)	延命化措置(設備点検・更新)	堺市						360		策定済
											小計						360		
											合計						360		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
河川事業	C03-001	河川	一般	堺市	直接	堺市	-	-	防災情報提供事業	防災情報提供施設	堺市						4	-		
		水位情報等をリアルタイムに把握し、住民に避難を呼びかけることにより、災害等による被害の軽減を図る。																		
		省略工種 活動支援																		
											小計						4			
											合計						4			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業課である河川水路課で実施

事後評価の実施時期

令和4年6月に事業評価を実施

公表の方法

堺市ホームページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・一級河川狭間川の河道改修を行い、治水安全度を向上させた。
- ・内川排水機場の延命化措置を行い、防災機能が向上させた。
- ・準用河川百舌鳥川の河道改修の設計を行い、治水安全度の向上に向けて、事業着手した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

今後も「堺市における災害に強い河川整備の推進（防災・安全）」において事業進捗を図る。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	41%
	最終実績値	92%
一級河川狭間川の整備計画規模に対する整備率(総合流域防災事業における一級河川狭間川における河道改修がされている割合)=(総合流域防災事業における一級河川狭間川河道改修済延長)/(総合流域防災事業における一級河川狭間川の河道改修必要区間)		
「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」の予算を充当し、事業進捗を進めたため。		
2	最終目標値	1箇所
	最終実績値	1箇所
長寿命化計画に伴う延命化措置を行う施設数		
計画通り、延命化措置を行うことができた。		
3	最終目標値	1河川
	最終実績値	1河川
準用河川百舌鳥川の改修事業に着手する河川数		
計画通り、事業を進めることができた。		